

センター月だより

7月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

・地区別指導活動

	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導件数	0	0	2	2
声かけ件数	299	77	157	533
指導参加者数	73	40	45	158

(指導日誌より)

土岐地区

- ・ 駅前の階段にすわり込み女子高生が4人いた。あいさつをする。
- ・ 陶史台の道路上でサッカーをしていた少年2名に、「気を付けるように。公園内で遊技するように。」と声かけした。
- ・ 駅前で喫煙していた有職無職少年2名に口頭で注意すると、わりと素直に聞いてくれた。
- ・ 駅裏東側の駐輪場の奥に原付の投棄と思われるものが1台あった。ナンバープレートがなかった。

瑞浪地区

- ・ 大川八王子神社祇園祭りのため、神社及び周辺を重点的に巡回。多くの小・中・高校生が楽しんでいました。小・中学生は9時を過ぎると帰宅し始め、高校生は周辺で話が弾んでいたようであるが、飲酒・喫煙は全くない様子でした。
- ・ 竜吟幼稚園横の地下通路の電灯が消えていた。区長に連絡した。
- ・ ゲームセンター内にて、高校生(私服)男女4人組に声かけ、家からの迎えの車を待っているとのことで、気持ちよく挨拶をしてくれた。

多治見地区

- ・ 祇園祭りの日、銀座通りを巡回し声かけをした。小・中・高校生や有職無職少年も多くいたが、昨年より落ち着いた様子だった。
- ・ 未成年者らしい4・5人の男の子達が喫煙しているとの情報を受け、夏まつりの会場(小学校)に向かいそれらしい子ども達に会ったが、否定された。しかしその場にはタバコの吸い殻があり回収した。
- ・ ケーズデンキ店内で学校帰りの高校生?数人が、マッサージ機を使用し騒いでいたと、店員さんから情報を受けました。
- ・ スーパー等で、ペットボトルにドライアイス詰め、ロケットのように飛ばす遊びが流行しているそうです。可見のスーパーでは、それを足で踏みつけ、破裂した破片が目刺さった事故もあったようです。北陵中の先生からの情報です。
- ・ 一輪車や自転車に乗っている子ども達は、しっかりとヘルメットを装着していることに感心した。

できないことを責めない、とがめない

勉強やスポーツなど、子どもができないことを、教師や親や指導者が責めないことです、とがめないことです。できないことを責めても、子どもができるようにはなりません。

もう一度ていねいに、または何度も繰り返して教えることです。その教え方にも工夫を凝らしませう。そして、できたときにほめるのです。

そうすると、子どもは自信をつけていきます。

「生き方サプリメント101錠」 第3集より 多治見市教育長 村瀬 登志夫氏